



国際子ども図書館 学校図書館セット貸出し 中東・アフリカセット 小学校高学年向 内容紹介

このセットに含まれる本の内容紹介です。
学校での本の紹介や展示、学校図書館での選書などにご利用下さい。
※外国語の本にある日本語タイトルは参考訳です。

1. シンドバッドの冒険

ルドミラ・ゼーマン 文・絵, 脇明子 訳
岩波書店 2002年

アラビアン・ナイトの中でも有名な「シンドバッドの冒険」を抜粋した絵本。鯨の島、ロク鳥、ダイヤモンドの谷などの話が繊細なタッチの細密画でわかりやすく描かれている。巻末に、アラビアン・ナイトについて簡単な解説がある。この本をきっかけとして、『アラビアン・ナイト』(岩波少年文庫)に収録する「シンドバッドの冒険」の全訳も紹介していただきたい。

2. ルガルバンダ王子の冒険：古代メソポタミアの物語

キャシー・ヘンダソン 再話, ジェイン・レイ 絵, 百々佑利子 訳
岩波書店 2007年

楔形文字で書かれた4500年前の物語。王子は戦へ行く途中で病気になるが、霊鳥から与えられた力と女神の助言で戦は終結する。物語を神秘的にうかびあがらせる絵は、画家が大英博物館のシュメール文明の展示品から学んだ。この絵本は、物語を粘土板に書いたシュメール人、発掘した考古学者、解説した研究者、本の作者といった多くの人の手を介して作られた。

3. モロッコのむかし話：愛のカフタンほか (大人と子どものための世界のむかし話 11)

ヤン＝クナップート 編, さくまゆみこ 訳
偕成社 1990年

『モロッコの神秘と奇跡のお話集』から、部屋の中にまた部屋がある「ひみつのとびら」など不思議な9編を掲載。物語には、当時の人々の習慣や風俗、イスラム教の教えが書かれ、民衆の暮らしがいきいきと伝わってくる。「妖精にそだてられたむすめ」は10分程の短い話なので、読み聞かせをすることもできる。

4. ヨハネスブルクへの旅

ビヴァリー・ナイドゥー 作, もりうちすみこ 訳
さ・え・ら書房 2008年

黒人居留地に住む姉弟は、重い病気になった幼い妹を助けるために、ヨハネスブルグで働いている母親を家へ連れて帰る決心をする。その300キロの旅で、二人は白人と黒人の生活の違いに気づき、自分たちの社会へ疑問を持つ。アパルトヘイトは1994年に撤廃されたが、人が人を差別することの悲劇と、このような不正と戦う勇気の尊さをこの物語は伝えている。

5. アラブのむかし話：レモンの花よめほか（大人と子どものための世界のむかし話 16）

池田修, 康君子 編訳
偕成社 1991年

イラクやエジプトなど、アラビア語を話す諸国に伝わる6編の昔話を収載。自ら運命を切り開くことの大切さを説く「みじかいしっぽ」、遙かな未知の国日本に対するイメージがうかがえる「レモンの花よめ」など、物語からアラブ人やイスラム教徒の知恵や考え方、生き方が伝わってくる。読み聞かせにも使える。

6. 子どもに語るトルコの昔話

児島満子 編・訳
こぐま社 2000年

アジアとヨーロッパにまたがっているトルコは、人の動きが激しく、近隣諸国の影響も濃く、多種多様な文化が花開き、そこで育まれたトルコの昔話は、豊かな色合いを醸し出す。その中から、ナスレディン・ホジャの困難を風刺や屁理屈で乗り切ってしまう笑い話、日本の一休さんのように頓知のきくはげ頭の男の子ケローランの話や旧約聖書を思い起こす「シカのお告げ」など15編を収録。

7. イスラム世界の文字とアラビア語（世界の文字と言葉入門 7）

八木久美子 監修；こどもくらぶ 著
小峰書店 2004年

アラビア文字の形や発音、書き方などの基本を紹介する。大きな文字で書き順が示してあるため、初心者でも真似して書いてみるができる。また、アラビア語の簡単な言葉やアラビア数字とともに、エジプトの町や遺跡、イスラム教などについても写真入りで触れられている。巻末に用語索引と日本語からアラビア語への索引あり。

8. 池上彰のよくわかる世界の宗教 イスラム教

池上彰 著, こどもくらぶ 編
丸善出版 2016年

9. 池上彰のよくわかる世界の宗教 キリスト教

池上彰 著, こどもくらぶ 編
丸善出版 2016年

中東のアラビア半島で起こった「イスラム教」の巻では、聖典である「コーラン」、イスラム教徒の生活、国による違いなどとともに、中東問題についての解説も載せている。「キリスト教」の巻では、兄弟の宗教とも言われるユダヤ教、イスラム教との関係についての説明があり、世界各国へのキリスト教布教を解説する中で、アフリカ大陸の国々の宗教についても紹介している。

10. アフリカ・南アメリカの鉄道：ナイルエクスプレス・アンデスの鉄道 (鉄道で世界が見える！)

秋山芳弘 著, こどもくらぶ 編
旺文社 2006年

日本ではあまり知ることのないアフリカ・南アメリカの鉄道を扱った本。アフリカの主な国の鉄道について、車両の写真とともに、簡単な紹介がなされている。特に、エジプトの鉄道については、写真付きの乗車体験記や歴史等が掲載されており、鉄道から同国の暮らしぶりを伺い知ることができる。

11. エジプトのミイラ

アリキ・ブランデンバーク 文と絵, 神鳥統夫 訳, 佐倉朔 監修
あすなろ書房 2000年

古代エジプト人がなぜ、どのようにミイラを作ったのかを描いた知識絵本。ミイラを作るようになった古代エジプト人の死生観と、ファラオ(王)たちのミイラを例にした、ミイラ作りの手順や墓に納めるまでが、わかりやすく書かれている。豊富な絵は、古代エジプトの遺跡で発見された絵画や彫刻に基づいて描かれているので、当時の雰囲気が良くわかる。

12. ぼくはマサイ：ライオンの大地で育つ

ジョゼフ・レマソライ・レクトン 著, ハーマン・ヴァイオラ 編, さくまゆみこ 訳
さ・え・ら書房 2006年

マサイ族出身の著者が、村を出て勉強し、教職に就くまでを記す。生活を支える牛、大人への儀式「割礼」等の遊牧民の暮らしや、大半の子どもが退学する中で勉強を続ける心の葛藤、渡米までの道のりが描かれている。著者は、アメリカで教壇に立つ現在も年の半分は故郷ケニアで地域発展活動に貢献し、多くの遊牧民の子ども達に奨学金を提供している。

13. 写真で学ぶ世界遺産 3 (アジア・アフリカ)

平川陽一 編著
汐文社 2015年

アジアとアフリカの古代文明の遺跡や豊かな自然を有する国立公園など、主要な世界遺産について、歴史と現在の様子を紹介している。巻頭の地図で位置と名称が一覧できるほか、巻末にはアジア・アフリカ地域の世界遺産一覧表と用語解説集を付す。

14. しらべよう！世界の料理 4 (西アジア アフリカ)

ポプラ社 2017年

西アジアとアフリカの料理を紹介した本。料理だけでなく、背景にある風土や歴史、文化についても解説されている。表題にある4か国のほか、エチオピア、タンザニア、アンゴラ、マダガスカル、南アフリカ共和国の料理も掲載されている。巻末に索引あり。

15. なぞのサル アイアイ (たくさんのふしぎ傑作集)

島泰三 文, 笹原富美代 絵
福音館書店 2014年

マダガスカルでアイアイを調査したことのある著者が、自身の経験を振り返る形でアイアイの生態を紹介した科学絵本。アイアイが独特の細長い中指や鋭い前歯を持っている理由を知ることができる。

16. まちの市場で買いものしよう (アジアの道案内 トルコ)

鈴木郁子 文・写真
玉川大学出版部 2017年

トルコ語の通訳や翻訳の仕事をしている鈴木郁子氏が、トルコに住むネルギスさんの買い物に同行し、イスタンブールの市場の様子を写真やイラストとともに紹介している。トルコの日常的な風景に触れることができる。

**17. 古代アフリカ：400 万年前の人類と消えた王国-巨大大陸の謎を追う
(ナショナルジオグラフィック・考古学の探検)**

ヴィクトリア・シャーロー 著, ジェイムズ・デンボアー 監修, 赤尾秀子 訳
BL 出版 2013 年

古代アフリカの歴史を解明しようと取り組んできた考古学者たちの成果が、豊富な写真や発掘調査にまつわるエピソード等とともに紹介されている。巻末に用語解説と索引あり。

18. アフガニスタンの少女マジヤミン

長倉洋海 写真・文
新日本出版社 2010 年

アフガニスタンの子どもたちの日々の生活を紹介する写真絵本。主人公は山間の学校に通う 4 年生の女の子、マジヤミン。マジヤミンの住む村には、ソ連との戦争の跡がまだ多く残っているが、村の子どもたちは、子守や家の仕事をしながら学校に通い、村の復興を願っている。

19. DOOR : 208 の国と地域がわかる国際理解地図 3 (アフリカ)

地図情報センター 2018 年

54 の国を見開きごとに一か国ずつ紹介している。各国の人口などの統計情報をはじめ、あいさつや文化をイラストとともに掲載しており、視覚的に理解しやすい。

巻末にアフリカの独立国や自然を紹介するページ、おもな世界自然遺産の特集ページ、国名の索引あり。

20. 中東・アフリカのお菓子 (どんな国?どんな味?世界のお菓子 3)

服部幸應, 服部津貴子 監修・著
岩崎書店 2005 年

中東・アフリカのお菓子が写真とともに掲載されている。レバノンのミルクプリンや東アフリカのあげパンなど各国の昔から食べられて来た菓子を伝統的な作り方で忠実に紹介しており、実際に作ってみるのも面白い。食文化についても親しみやすく書かれており、子ども達が大好きなお菓子から、中東・アフリカ地域の文化に触れることができる。

21. 世界のともだち 17 (イスラエル)

村田信一 写真・文
偕成社 2014年

22. 世界のともだち 18 (パレスチナ)

村田信一 写真・文
偕成社 2014年

23. 世界のともだち 28 (エチオピア)

東海林美紀 写真・文
偕成社 2015年

24. 世界のともだち 30 (セネガル)

小松義夫 写真・文
偕成社 2015年

世界の子どもたちの生活を紹介する写真絵本シリーズ。1冊ごとに1人の子どもに密着し、家庭、学校、地域などさまざまな場面からその国や都市での暮らしを伝える。巻末には、地理・歴史のデータを掲載する。

第17巻では、イスラエルのテルアビブに住むお絵かき好きの8歳の少女シラの生活を紹介する。第18巻では、パレスチナのエルサレムに住むしっかりもの、10歳の少女ルールデスの暮らしを紹介する。第28巻では、エチオピアの北部、標高2,000メートルの山の上にある町ゴンダールに住む13歳の少年ナティを紹介する。第30巻では、セネガルにある貝がらでできた島で暮らす11歳の少女マドレーヌの生活を紹介する。

25. Q&A で知る中東・イスラーム 1 (なにがおきてる?: 現代の中東ニュース)

宮田律 監修
偕成社 2018年

Q&A形式で中東・イスラームについて解説するシリーズ。第1巻は、パレスチナ問題、911同時多発テロ、アラブの春や最近の難民問題など、中東の現代史を扱う。巻末に索引と年表あり。

26. ムスタファの村：イラク共和国 (シリーズ核汚染の地球 2)

森住卓 文・写真
新日本出版社 2009年

イラク南部に住む9歳の男の子ムスタファの村や家族を写した写真集。イラクでは、湾岸戦争後、劣化ウラン弾の影響が疑われる白血病やガンになる子どもが増えており、ムスタファもそんな子どもの一人である。笑顔の写真からは、戦争の傷跡と共に日常生活を送るイラクの子どもも、日本の子どもと同じ子どもらしさを持っていることが感じとれる。

27. エンザロ村のかまど (たくさんのふしぎ傑作集)

さくまゆみこ 文、沢田としき 絵
福音館書店 2009年

水道も電気もないケニアのエンザロ村。そこの家にある三口のかまどは長年ケニアに住む日本人、岸田袈裟さんが考案した。このかまどで飲み水を煮沸でき、赤ちゃんの死亡率が激減した。村を訪ねた著者が、かまどの講習会や人々の喜ぶ姿、裸足の村人に草鞋の作り方を教える様子を素直な目で伝える。素朴な絵が文と絡みながら人々の生活を語る絵本。

28. 世界の文化と衣食住：国の記念日と祝日 3 (アフリカ)

鈴木佑司 監修
小峰書店 2019年

アフリカの各国について、特徴的な衣食住に関する情報と代表的な祝祭日を紹介している。祝祭日にはイースターのような宗教的行事や独立記念日のような国の歴史に関わる記念日が含まれており、その国の文化や歴史を知るきっかけになる。巻末に祝日解説と索引あり。

29. いっしょにあそぼう：アフリカの子どもをあそび

イフェオマ・オニェフル 作・写真, さくまゆみこ 訳
偕成社 2007年

現地の子供たちが実際に遊んでいる様子を見ながら、セネガルとナイジェリアの遊びや歌を知ることができる写真絵本。日本にもある手あそびや「あやとり」も紹介され、実際に遊ぶこともできるので、クラスや国際交流の場で遊ぶのも良いだろう。また遊び場や普段着の写真から現地の子供たちの日常に触れることもできる。

30. 自然を共有して生きる動物たち (写真で見るたくましいアフリカの野生動物たち 2)

黒田弘行 著
星の環会 2004年

ケニア自然公園・自然保護区に生息する多種多様な野生動物の生態誌。著者は元理科教師。多くの哺乳動物が縄張の目印に糞を使うなどエピソードに満ちた文章と動物の生活の一瞬を切り取った多くの写真は、子どもの興味を惹くだろう。遊牧系の部族が生き物と自然を共有している様子は、地球環境保護への示唆に富む。

31. まんがアフリカ少年が日本で育った結果

星野ルネ 著
毎日新聞出版 2018年

カメルーン生まれの著者が4歳直前から生活を始めた日本でのエピソードを記したコミックエッセイ。

32. アフリカンドレス

アフリカ理解プロジェクト 編
明石書店 2005年

アフリカのファッションから料理のレシピまで、実際に作ってみることができるものをイラストや写真で幅広く紹介する。一般書だが、アフリカの民族布「カンガ」の着こなし方やアフリカ風ビーズアクセサリーの作り方など、子どもが手軽に実践できそうなものもある。生活科や家庭科の授業で紹介してアフリカを身近に感じてほしい。

33. アラブとアフリカの音楽 (国際理解に役立つ世界の民族音楽 4)

若林忠宏 監修, こどもくらぶ 編
ポプラ社 2003年

ピアノの祖になったサントウルや胡弓のもとになったケマンチェ等の民族楽器の写真とともに、楽譜や歌詞も掲載されている。音楽に深く影響を及ぼしている土地の風土や文化、歴史の解説も充実しており、ブルースやロックにつながるアフリカの演奏形式等、音楽が育まれてきた背景がわかる。

34. すずめの空 (詩の国イランの絵本 5)

モハンマド=ホセイン・モハンマディ 詩, モハンマド=マフディ・タバータバーイー 絵,
蜂飼耳, 愛甲恵子 訳
ブルース・インターアクションズ 2006年

35. ۳۵. مجموعه شعر : یک آسمان گنجشک (ペルシヤ語)

شاعر محمد حسين محمدی ; تصویرگر محمد مهدی طباطبایی
کانون پرورش فکری کودکان و نوجوانان 2002年

「詩の国イランの絵本シリーズ」の第5巻。アフガニスタン生まれの詩人と隣国イランの画家の合作。てんとうむしや遊園地など子どもたちの日常をテーマに、見開きにひとつずつ詩が掲載されている。巻末に訳注あり。

36. 石たちの声がきこえる (アラビア語併記)

マーグリート・ルアーズ 作, ニザール・アリー・バドル 絵, 前田君江 訳
新日本出版社 2018年

石を並べて人々を描いた写真絵本。戦争のために祖国を逃れ難民となったラーマーの家族が、新しい土地に着くまでを描く。巻末に、難民のことを描いた絵本の紹介あり。

37. أحلام حسن (アラビア語) ハサンのゆめ

تأليف يعقوب الشاروني رسوم هاني المصري
دار الیاس العصلية للطباعة والنشر 2004年

アラビアの昔話や伝説をヒントに書かれた物語を集めた「シェヘラザード」シリーズの一冊。宝石商ハサンが銅を金に変える貴重な物質を求めて砂漠のオアシスを探す話。画家は、エジプトで児童書最優秀イラストレーション賞(1979年)、スザンヌ・ムバラク賞(2004年)を受賞。

38. ۳۸. برگرفته از شاهنامه فردوسی: رستم و سهراب (ペルシヤ語) ロスタムとソフラーブ

وفایی منصور نقاش، ؛ پارسائزاد کورش گرافیک، طراح ؛ فولادوند مرجان بازنویس،
کانون پرورش فکری کودکان و نوجوانان 2004年

イランの神話を集めた「王書(シャー・ナーメ)」中の物語。ペルシヤの英雄・ロスタムは、トゥーラーンの姫と結ばれて息子ソフラーブを得るが、のちにペルシヤとトゥーラーン国とが戦ったときに、わが子と知らずにソフラーブと戦い殺してしまう。かつてのイランでは人々が集まる茶館で、こうした英雄伝説が弾き語りされていた。本書の絵は茶館の壁に描かれた絵の様式(茶館様式)で描かれ、白い斑点は壁の絵の落剥を模している。

39. Fati and the Honey Tree (英語) ファチと蜂蜜の木

an original story from Osu Library Fund ; illustrated by Therson Boadu
Sub-Saharan Publishers 2002年

ガーナの女の子、ファチの一日を描いた創作絵本。ある日、お父さんと一緒に畑へ向かう途中、ファチは疲れて一人で休む。お父さんは木登りを禁ずるが、お父さんが行ってしまうと、ファチは木に登り、マンゴーや蜂蜜をとってしまう。本文はガーナの公用語の英語で書かれ、力強い筆致の写実的な絵は、ガーナの農村に住む家族の様子を映し出す。

40. タンザニア民話とティンガティンガ：虹の七色どこからきたの？

宇野みどり 文, アブダル A.ムクーラ 絵
国際語学社 2005年

タンザニアの昔話6編に、ティンガティンガというタンザニアの現代絵画の手法で描かれた色鮮やかな挿絵がついている。動物が出てくる民話には、最後に格言がつく。タンザニアの人々は、日常会話や子どもの躰に格言を用いる。巻末にはスワヒリ語の記載もあり。

41. パパがサーカスと行っちゃった

エットガール・キャロット 文, ルートゥー・モエダン 絵, 久山太市 訳
評論社 2005年

42. אבא בורח עם הקרקס (ヘブライ語)

אתגר קרת ורותו מודן
זמורה-ביתן, מוציאם לאור 2000年

パパとサーカスを見に行くと、パパがそのままサーカスに入ってしまうという内容のイスラエルの絵本。1ページ目の絵が和書とヘブライ語版では異なるが、これは英語版が作られた際に絵が変更され、和書が英語版から作られたためである。この作家の作品は、イスラエルの高校の教科書にも採用されている。画家は、イスラエル国内の児童書賞イラスト部門を二度受賞。

43. ゆきのなかのりんご

フェリドゥン・オラル 文・絵, ふしみみさを 訳
復刊ドットコム 2017年

44. Kırmızı elma (トルコ語)

Feridun Oral
Yapı Kredi Kültür Sanat Yayıncılık 2008年

雪の降る森で、お腹を空かせて食べものを探していたうさぎ。木の枝にたったひとつりんごが残っているのを見つけるが、高くて手が届かない。そこへ、ねずみ、きつね、くまが現れて…。

国立国会図書館 国際子ども図書館
児童サービス課 児童サービス企画係
URL : <https://www.kodomo.go.jp/>